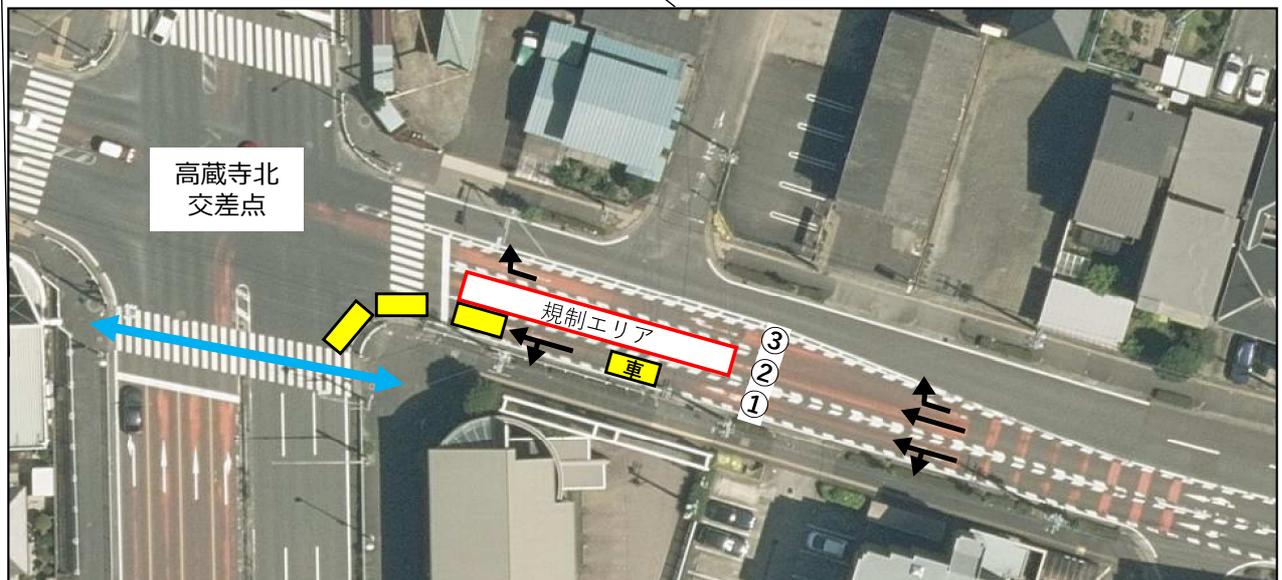
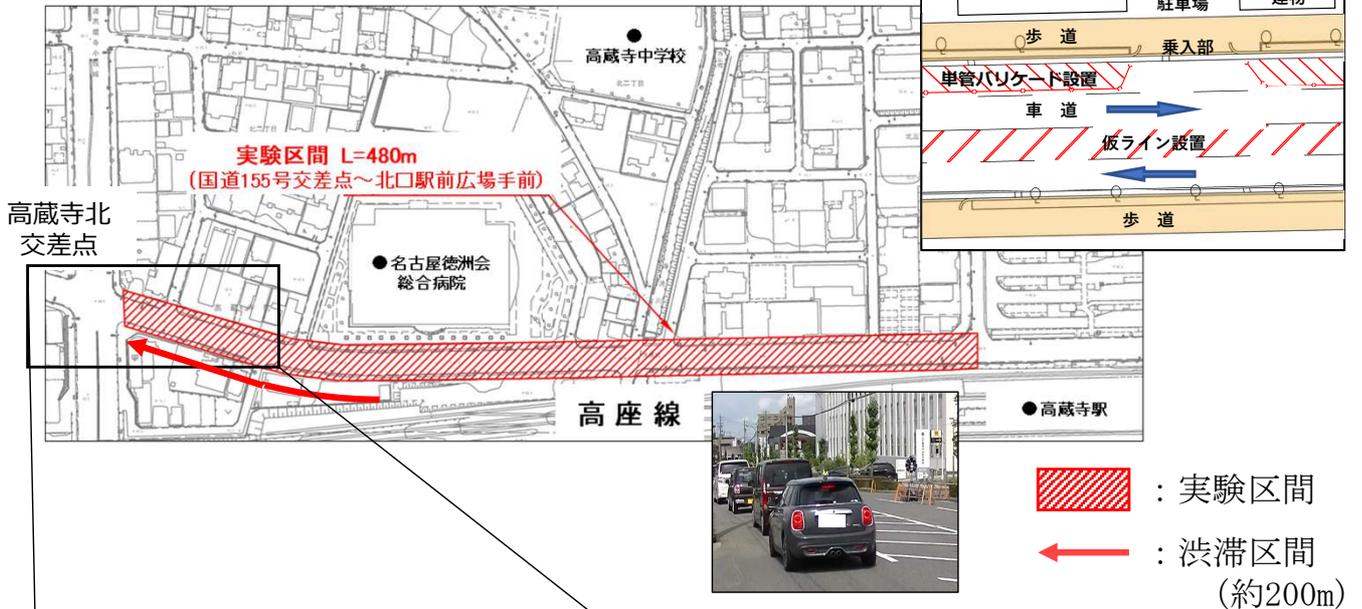
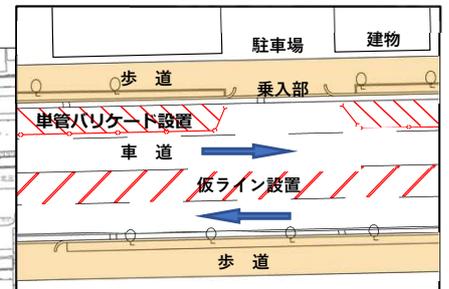


○高座線の交通社会実験について

(1) 社会実験の概要

高蔵寺ニュータウン及び周辺地区の魅力ある顔づくりの取組みとして、北口駅前広場の再整備にあわせて、高座線が居心地がよく歩きたくなるような空間となることを目的として、現在の4車線を2車線にすることによる歩道の拡幅など、道路空間の再配分の可能性を検討するために交通社会実験を実施しました。（令和4年7月5日から7月14日までの10日間）

【車線規制イメージ図】



(2) 実験時の課題

高蔵寺北交差点への西進車両について、現況①から③までの車線がありますが、社会実験により②を規制したことにより、①の左折車両が横断歩道を渡る歩行者等を待つことにより、後続の車両が直進出来なくなり、ここで渋滞が発生する課題が残りました。